

地域を考え、時代を創る、新しい日本を一緒に作りましょう。



Heart to Heart

Smile man

率直に語る

後藤しげゆきニュース

2008
新春号
Vol.33

発行/後藤茂之 後援会

【ホームページアドレス】<http://www.510.to> 【メールアドレス】goto@510.to

● 諏訪事務所 / 〒392-0017 諏訪市城南1-2542 ● 塩尻事務所 / 〒399-0738 塩尻市大門七番町5-12 ● 木曾事務所 / 〒397-0000 木曾郡木曾町福島上塩刈2690



▲日本青年会議所主催「二代政代表者による議員のよび(パネルディスカッション)自民党を代わって党の政策や国民理念を語る。



▲政調副会長兼事務局長として、各府政調会長とともに、長野県議選からの予算要望を受ける。この経歴に代議士自身の軌がある。



▲長野県政調副会長の後藤茂之と、代議士自身の軌がある。

た信頼を回復し、原点に立ちかえってその本来の
又、繰り出す恐ろしい事件や教育の荒廃などが
らも目をそむけることはできません。私達は、規範性、
社会性を確立し、希望のある誇り高い社会を創り
出さねばなりません。社会を構成している一人一人
が自ら立ち上らねばなりません。政治も、失われ

たにしておりま

新しい年を迎え、今年一年が皆様にとってより
よい年になりますことを心からお祈り申し上げ
ます。
現在、大都市と地方の格差が拡大し、地域経済
は非常に厳しい状況にあります。政府としては、地
域経済の建て直しのために地域活性化プランを推
進するとともに、東京をはじめとした大都市圏か
ら地方への財政調整など地方財政のテコ入れを積
極的に行っています。地域の諸資源を生かした地
方の中小企業が元気になってこそ日本全体の経済
の建て直しが可能になります。

後藤代議士は、当選三回ながら、中川、石原、谷
垣三政調会長の下、三期連続して政調副会長とし
て政策立案の中心で活躍しております。特に現在、
二十年ふりとして新設された政調事務局長をも兼務し、
政調会長室に事務局長席を持ち、常時重要案件に
ついて政調会長を支える重要なポストにあります。
従来から変わらず主張してきた通り、とり残され
た地方や弱い立場の方々やきこえと温もりのあ
る丁寧な心配りを行う「心の通う改革」を推進して
います。政治活動の幅を広げ、今や次世代を担う
リーダーとしてめざましく頭角を現しています。
これもひとえに皆様の御支援のおかげと心から感
謝申し上げます。今後とも、国のため地域のため
ますます懸命に働かせていただきます。決意を新

社会、政治、経済を建て直す。

心の通う改革路線を貫く。

要職で「心の通う改革」を推進。

貴務を立派に果たさねばなりません。現在の混迷
を切り拓き確実に前進する年にしたいと思えます。



A Q 関心の体重的増減は？
昨年はずしすぎて大増幅、残念です。

A Q 中小企業対策については？
二、三〇〇億円の大規模補正予算に加え、昨
年に続き、当初予算においても約十兆円
の増額をします。農商連携や地域活
性化の諸施策など中小企業の創意工夫を生
かすきめ細やかな対応もしています。特に
年末の税制改正において、長らく念願であ
った事業承継制が創設されたことは大変
な朗報です。

A Q 原油高騰対策は行われるのか？
日本経済の大きな不安要因となり、生活を
圧迫している原油高騰対策のため、五七〇億
円の補正予算を計上し、他、灯油配布に
あたりその半額についての交付税措置を
講じる。この高送料金の割り引きを行うこ
となど新しい施策も創設しました。

A Q 弱い立場の人にもっと配慮すべきでは？
政治の最も重要な任務は、目の前の困って
いる一人の人を助けることだと思えます。
少子高齢化がすすむ中で、社会保障制度改
革も確かに必要です。しかし、制度のための
制度改革であってはなりません。本年四月
に予定されている後期高齢者医療制度の導
入、一刻などは、まずは実施を一部見合わせ、本
当に困る方がいないか、もしいるのなら対
応をしたうえで実施することとしました。障
害者自立支援策についても、来年以降も引
き続き調査と措置をつづけて、実態に合った
制度の見直しをすすめてまいります。年
金事務に対する不安にも出回るだけの対応
を懸命にいたします。

A Q 後藤代議士
Q & A

語る